

令和6年7月31日総合計画審議会専門部会 A-4

参加者：大塚委員、佐藤委員、丹野委員

欠席者：廣瀬委員

ファシリ：小寺さん 板書：天野

### ①社会教育の推進

《質問》

委員

目標値の成果の隔たりの理由は。

江崎生涯学習課長

読書感想文の取り扱い自体が減っている。それ以外が増えている。

委員

3.施策達成状況①の読書感想文以外の参加者の推移について。

江崎生涯学習課長

ジモト大学については、成果指標①に数値に含まれていない。

委員

これまでできなかった事業の再開とは。

江崎生涯学習課長

国際交流（トレーシー）、フレンドリーコンサートなど。コロナや事業の縮小で。

委員

電子図書の拡大・浸透の実績は。

藤澤図書館長

4000 タイトル購入、5700 件の貸し出しがあった。学校にも ID・パスワードを配布。図書館担当の先生に啓発。今年度も説明会を行う。

委員

町児童生徒が参加する取り組み、町としてやっている催しなどがあれば、名称等教えてほしい。

藤村社会教育係長

成果指標①が、小・中・高対象にした行事を積み上げたもの。揖斐川町との交流。寺子屋芽室（ゲートボール教室、ドローン体験）。わんぱくキャンプ。揖斐川の小学生のおもてなし。トレーシーとの国際交流。西部とかち3町で、くまげらキャンプ。

委員

子どもたちを集めて、写生会など手軽にできるものをやられたことはあるのか。もしやっていなければ、取り入れてもいいのではないか。（要望）

藤村社会教育係長

写生会はまちでやっていない。

委員

図書館と学校の図書室との差別化について。

藤澤図書館長

図書館と学校の図書室で、分けるためにこうしようというのではないが、電子版の図書をどういうのを入れたいかなど学校の先生に聞いたり、要望を聞いたりして、連携を取ってやっている。

委員

子ども会活動の減少。複数の町内会をまたいで広域的に子ども会をすることはできるのか。

江崎生涯学習課長

町内会の活動にも付随している。いくつかの子ども会を繋げるというのも一つの案。町内会関係で魅力創造課とも話し合いながら進めていきたい。

《評価》

委員

妥当 子供から高齢者までを大切に見守り、充実した生活を送ることができる取り組みが見られる。

委員

妥当 質問の回答理由が納得できた

委員

妥当 社会教育委員に対し、コミュニティスクールの取り組みなどの周知があっているのではないかと。介護施設にギャラリーがあって、4か月分芽室の人に来てもらっている。社会教育活動は、コロナ明けから他より早く動いている部分もある。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

町の人との触れ合いの場を設けることが大事。町のすばらしさを子どもたちに小さいころから教えるのが将来的にいい。課外活動（写生会等）を子どもに参加してもらおう。芽室の良さを発見できるのではないかと。

委員

・策定時になかったことが入ってくる（ジモト大学等）ため、成果指標の数値を%にしたかどうか。

・民間主体で実施していること（クリーンアクションなど）を、町として参加の促進を図ってくれると嬉しい。参加者が増えることが、生涯学習の機会につながる。また、成果指標にもつながるのではないかと。

・ブルーハンカチプロジェクトも口コミで広まった感じのため、町で周知をしてもらえると、興味がある人の輪が広がるのではないかと。

・ゲストハウスに大学生がきて、まちづくりの研究をされる。もっとまちが応援するのはどうか。

委員

事業のバランスを大事に。やっていること自体は、大切なこと。

江崎生涯学習課長

社会教育委員への周知。やっている事業をお知らせする努力をしていく。

《補足》

委員

電子図書の絵本について、読み聞かせがAIの声。温かみのある声で読み聞かせしたい。AIで読み聞かせした書籍があるのか。

生涯学習課

便利な世の中との組み合わせをどうしていくか。どんなものがあるか確認しておく。

## ②地域文化の振興

《質問》

委員

芸術鑑賞を楽しみにしている。演目について、ローテーションが決まっているのか。

江崎生涯学習課長

マンネリを避けるため公募した組織で、項目を挙げて選んでいく形。演目自体を多くの人に楽しんでもらえるようなものを選んでほしいと伝えている。

《評価》

委員

妥当 芸術鑑賞、文化展の大変さわかる。今の内容でいい。他自治体では、体験型の文化展の受けがいい（生け花など）。そういうこともやってもらえたら。（要望）

委員

妥当 成果指標の推進。

委員

妥当 文化芸術を活かした地域づくりは難しいが、実行委員会の皆様の頑張りで前進と評価。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

文化協会の活動について具体的に。

江崎生涯学習課長

役員のみ手がいなく、世代交代できない。新しい組織を作るにも担ってくれる人がいない。少人数で動いている人もいるがそういう人は文化協会には入らない。入らなくとも活動できる現実。芽室町だけでなく他の市町村もそういう傾向。できることをしていきたい。

委員

町民活動支援センターの親切な対応に感謝している。今後も何かあったら頼りたい。体験型の文化展はとていいと思う。

江崎生涯学習課長

マンネリ化が進んでいるため、協会に意見を伝える。

委員

読書感想文でPOPの部門ができた。図書館祭りで、POP作成コーナーを作ろうと思う。

江崎生涯学習課長

指定管理者、ノウハウがしっかりしていて講座をやっている。社会教育という分野で専門家にやってもらう時代。今年度いっぱい更新で財団になる予定。落語なども財団で考えている。要望等聞いてやっていきたい。

委員

文化芸術は心を豊かに成長させるうえで大切。幼少期の影響は大きいため、小さいころから文化芸術に触れてもらうことが大切。学校単位で、楽器の演奏や人形劇など触れ合える機会を。

江崎生涯学習課長

生涯学習課だけでなく、子育て支援課などとも協力して取り組みを進めていきたい。多様性をどう取り入れるかも課題。ご意見として考えていきたい。

### ③スポーツしやすい環境づくり

《質問》

委員

総合体育館の改修期間の代替え場所はあるのか。

江崎生涯学習課長

学校の施設開放をしている。団体には去年から声掛けしている。

委員

河川敷の野球場について、台風で浸水したその後は。

江崎生涯学習課長

今の場所の整備予定はない。また同じ災害がないわけではないためである。球場が一つだと混むため、西中にもグラウンドがあり、あまり使っていない状況であることから、大人が使うには整備が必要だが、代替え施設として考えていきたい。

《評価について》

委員

妥当 各施設が充実してきている。町民の健康に対する意識の高まり。

委員

妥当 成果指標の結果。スポーツ団体との連携が評価できる。今後も続けてほしい。

委員

妥当 成果指標。「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業は、地方にいるとできないことであり、いい機会作っている。評価できる。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

スポーツを通しての健康づくりは大事。「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業は必要である。継続をお願いしたい。

委員

部活動の地域移行に関する取り組みについて、「我が子が部活動をしていく中で、時間帯が限られていて、試合前にアップする時間がなく、危険である」といった声を聞いた。子どもたちの安全面での懸念がある。子どもたちの安全を最優先にしてほしい。

委員

部活動の地域移行について、朝4時に中学生が野球のユニフォームをきて学校に来ているのを見た。そんなはやくからやっているのか。時間が決まっているという部分が極端なのではないか。朝が早すぎてかわいそうである。

温水プールの利活用について、介護予防にも効果がある取り組みである。プールでの体操などは、介護予防に効果あり。

江崎生涯学習課長

「一流を見て・聴いて・学ぶ」事業は、子どもたちが目を輝かせてやっている。

部活動の地域移行については、時間の目安があり、先生方も時間を守っている。守ることが安全性に影響を及ぼすのであれば、そういう意見があったということを学校に伝えたい。

温水プールの利活用について、プールはどんどん使ってほしい。水泳少年団の解散があり、運営する上で、お母さんたちが大変でやっていられないとなったことからである。トレーニングセンターはたくさん人が来ている。体育館にキッズルーム作った。子育て支援の観点で、3月だけで5000人きた。子どもたちの健やかな成長を促していきたい。